

あいち農産物生産流通レポート

平成22年6月号

情報サロン		
・画期的な水稻新品種「中部125号」を開発 (農業総合試験場).....		1
地域トピックス		
・豊橋農業協同組合花き集出荷場が竣工しました (東三河農林水産事務所).....		2
東日本情報		
・FOOD ACTION NIPPONとは (東京事務所).....		3
西日本情報		
・京阪神愛知会通常総会が開催されました (食育推進課).....		5
フラワーページ		
・花を持って歩こう「フラワーウォーク」 (園芸農産課).....		7
青果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		8
・名古屋・東京市場における青果物の6月の見通し		9
花き		
・切花・鉢花の6月の見通し(県内市場)		21
輸出入		
・主要農産物の輸出入実績(2010年3月)		25
関連指数		26

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6417

画期的な水稻新品種「中部125号」を開発

研究の背景・ねらい

農業総合試験場では長年にわたり、水稻の重要病害であるいもち病に対して、ほ場での感染や症状の進行を抑える抵抗性（圃場抵抗性）をもつ品種の育成を行っています。陸稲の戦捷（せんしょう）はいもち病抵抗性を強く発揮する遺伝子 *pi21* をもつ品種ですが、その後代系統にはいもち病に強くても食味が劣る系統が多く、品種の育成に至りませんでした。このため（独）農業生物資源研究所及び（独）農業・食品産業技術総合研究機構作物研究所と共同で、農林水産省の新農業展開ゲノムプロジェクト及び指定試験事業に取り組み、コシヒカリ並に食味が良く、*pi21* を持ついもち病に強い品種の開発にあたりました。

育成の経過

中部125号は、DNAマーカー選抜と染色体全域の調査を行う「ゲノム育種法」を活用し、遺伝子の正確な位置情報に基づき、いもち病抵抗性遺伝子と強く連鎖していた食味を損ねる遺伝子はずすことに、世界で初めて成功した画期的な品種です。

食味の良いミネアサヒを母、戦捷を父として交配後、ミネアサヒを戻し交配した系統にコシヒカリを交配してできた後代の6,000個体から、*pi21* の両側の特徴的なDNAの塩基配列の部分を目印として選抜し（DNAマーカー選抜）、*pi21* を保有し、かつほとんどの染色体部分がミネアサヒまたはコシヒカリ型となっている6個体を得ました。この中から食味がコシヒカリ並である系統を選抜し、固定しました。

いもち病圃場抵抗性遺伝子 *pi21* の特徴

この研究では、陸稲の戦捷がもつ *pi21* が、劣性で抵抗性を示す新しいタイプの遺伝子であることもわかりました。*pi21* をもつ稲では、いもち病菌が感染したときに菌糸の伸びを抑制し、いもち病抵抗性を発揮します。



図 中部125号のいもち病抵抗性程度
（左：コシヒカリ、右：中部125号）

中部125号の特性

- （1）コシヒカリに比べて出穂期、成熟期は2日程度早くなります。
- （2）葉いもち圃場抵抗性は極強～強、穂いもち圃場抵抗性は強です（図）。
- （3）穂発芽性は難、花粉の形成や受精に影響する障害型冷害への耐性はやや強です。
- （4）玄米の外観品質・食味は「コシヒカリ」と同等です。
- （5）栽培の特性はコシヒカリによく似ています。

耐倒伏性は中程度です。適正な施肥水準を守り、適期収穫に努めましょう。

おわりに

中部125号は、平成21年8月に種苗法に基づく品種登録出願を行いました。極めて強いいもち病抵抗性と食味の良さをあわせ持つ水稻品種で、交配用の母本的価値は高いと考えられ、今後の水稻育種においても広く利用されることが期待されます。

豊橋農業協同組合花き集出荷場が竣工しました

平成 22 年 4 月 22 日（金）豊橋農業協同組合は、豊橋市野依町地内の第四事業所に花き集出荷場をオープンしました。

竣工式には、来賓の佐原豊橋市長など約 100 人の出席者がありました。

始めに豊橋農業協同組合白井代表理事組合長が、「JA 豊橋の花きの 7 割をこの施設で集荷する。消費低迷で花きは苦しいが生産振興に頑張る。」と決意を表明しました。

また、佐原豊橋市長からは、「日本有数の花き産地のこの施設で、環境に配慮して生産された良質な花きの安定的な出荷を望みたい。」と期待の祝辞が述べられました。



テープカット

同施設は、豊橋市内東七根町にあった集出荷場が手狭になったこと、集出荷場の拠点整備を図ること、などの理由で当地に建設されたものですが、湿式低温流通システムを導入し花きの劣化を防ぐことで、高品質・高付加価値化を実現する機能も有しています。

さらには、このシステムにより、今まで出荷日当日に搬入したものが、前日に搬入し冷蔵庫に保管することで、農家の作業の平準化を図ることも可能になります。



花き集出荷場遠景

取扱い花きは、日本一の生産量を誇るデルフィニウムを始めとして、グロリオサ、スイートピー、バラ、カーネーションなど 50 品目、600 余品種で、出荷日に搬入された花きは、デルフィニウムライン始め 3 ラインのコンベアで検査・仕分けし出荷されます。

関係する花き生産農家数は 125 名、平均年齢 45 歳と若く今後の出荷が期待されます。

FOOD ACTION NIPPON とは

各種イベントに出向くと「FOOD ACTION NIPPON」とうたったコーナーやのぼりが目に付きます。この「FOOD ACTION NIPPON」は食料自給率向上に向けた国民運動として、平成 20 年 10 月に政府が立ち上げたものです。

先進国の中で最も低い食料自給率（平成 20 年度：カロリーベース 41%）は、食の洋風化（肉類、油脂の増加）及び生活スタイルの変化（家族中心から個人中心の食生活）など消費行動の変化によってもたらされたものであり、補助事業による生産振興方策に頼る自給率向上だけでは解決に限界あることから、消費拡大を国民運動につなげていこうというものです。

FOOD ACTION NIPPON の目標は「 ”おいしいニッポン” を残す、創る」ことで、2020 年度目標として食料自給率 50% の実現をめざしています。

食料自給率を高めるための 5 つの方法として、「いまが旬」の食べ物を選ぶ、地産地消をすすめる、ごはんを中心に野菜をたっぷり使ったバランスの良い食事をする、食べ残しを減らす、自給率向上の様々な取り組みを知り、試し、応援する（例として、自給飼料による畜産、米粉を使った新メニューなど）ことを提案しています。



ロゴマーク

具体的な取り組み内容

1 推進パートナーによる様々な取組

運動に賛同する自治体、食品産業、旅館・ホテル、大学、経済界などを「推進パートナー」として登録し、公式サイトの中にある「発見！地域のアクション」で紹介することで、食料自給率向上に積極的な企業・団体であることを消費者にアピールし、他の推進パートナーとの連携拡大など、新事業展開に役立つようにしています。それら推進パートナーの主な取り組み事例を第 1 表に紹介します。

平成 22 年 4 月末現在、推進パートナー 3,222 団体、FAN クラブ会員 75,043 人が登録されています。本県では、「愛知県」を始め自治体や企業など 103 件がパートナーに登録しています。

第 1 表 推進パートナーによる自給率向上に向けた取り組み事例

企業・団体	主な活動内容
宮城県	「みやぎ食料自給率向上県民運動」開始記念大会でキャッチフレーズ入賞作品発表、みやぎ自給率向上クラブの会員企業の取り組み紹介を実施。
「道の駅に行こう」	推進パートナーの道の駅おすすめの夏野菜、観光イベントをのせたパンフレットを作成し、旅館・ホテルに配布。
ノギャルツアー ～親子で畑に出かけよう～	ノギャルプロジェクトの藤田志穂さんが千葉県、南房総市と JTB が連携し、「楽しい農業」をテーマに親子農業体験、調理体験。また生産者とギャルママによる野菜と食育の座談会などを開催。
日本青年会議所	パシフィコ横浜で開催。イベントブースにて PR。「わたしのアクション」宣言を募集し 474 名回収。食料自給率向上運動
モスフードサービス	国産の肉、野菜、チーズを使用したハンバーガーを発売。米粉で焼き上げたパウンドケーキと国産トマトジャムをプレゼント。
リンガーハット	554 店舗で使用する野菜を国内 40 産地の農家と連携して、商品化し、全流通できるまでのシステムづくりを確立。

第1表 推進パートナーによる自給率向上に向けた取り組み事例（続き）

企業・団体	主な活動内容
ハウス食品	食料自給率の高い「カレーライス」を通じてニッポンの食卓を元気にする「CURRY ACTION NIPPON」サイト開設。
味の素	全農、流通と連携し47都道府県でとれる国産野菜と「ほんだし」で作る食べ方を提案する「新ニッポンを、いただきます。」キャンペーンを展開。
井関農機	東北をトラクターで一周するイベントを実施。推進パートナーの道の駅にて自給率向上運動を展開。
ノースプロダクション	食料自給率1100%を誇る十勝の生産者団体が量販店などを通じて消費者との情報交換を実施。
パルシステム	組合員100万世帯がごはんをもう1杯食べて自給率0.2%アップさせるキャンペーン、友人4人に呼びかけ500万世帯、1%アップ運動の実施など。
ドギーバッグ普及委員会	目黒区内の商店街で食べ残しを持って帰るドギーバッグをペットボトルのキャップ15個以上持参した方にプレゼント。
中日本エクシス	滋賀・三重・愛知・岐阜・長野5県のサービスエリアで「地元を食べようキャンペーン」「5県おいしいものフェア」を開催。

2 FOOD ACTION NIPPON アワード 2009

食料自給率向上に寄与している事業者、団体等の活動を対象とした顕彰を行うことで、多くの消費者に対してこの活動への理解と、消費拡大を目的としています。

ちなみに2009年度の大賞・農林水産大臣賞は常盤村養鶏農協（青森県南津軽郡）の鶏卵「こめたま」が選ばれました。「こめたま」は飼料用米など国産材料75%の飼料で飼育された鶏が生む卵で、レモンイエローの黄身が特徴で食味も良好であることから、1玉100円で販売されています。耕作放棄地を飼料用米生産に積極活用するとともに、排泄される鶏糞は水田に利用されるリサイクルを実現しています。

3 米粉倶楽部

ここ数年米粉の利用が急速に伸び、パンやケーキ、麺類など様々な食材に幅広く利用され、独特のもちもちとした食感が人気となっています。FOOD ACTION NIPPONにおいても、米粉の消費拡大により食料自給率の向上につなげる目的で取り組んでいます。平成22年4月末現在、404団体が加盟し、「米粉倶楽部」のロゴマークを利用した製品が販売されています。公式サイト内に「米粉倶楽部」ページを開設し、米粉を使ったレシピ、商品・メニューなどを紹介しています。

4 「わたしのアクション」宣言

日々の食生活で国産農産物を選択する個人の意識啓発を目的に、食料自給率向上に向けた個人の決意を「わたしのアクション」宣言として募集しています。赤松農林水産大臣を始め、プロ野球選手から一般者まで約21,000人の宣言が集まっており、公式サイトに一部がアップされています。

今後の展開

「FOOD ACTION NIPPON」運動の知名度は42%ですが、「国産を食べよう」運動であることに対する認知は20%です。啓発運動はまだ発展途上にあり、各種イベント、公式サイトでのPRはもとより、推進パートナーの増加や取り組みの拡大が一層期待されます。この運動を通じて地域に埋もれた食材の「宝」を発掘・育成し、消費拡大につなげていく取り組みは地道ですが食料自給率の向上につながるものと思われれます。

京阪神愛知会通常総会が開催されました

京阪神の卸売会を会員として昭和50年に設置された「京阪神愛知会」は、京阪神地域の青果市場における愛知県青果物の生産・販売・流通の改善や需要拡大・消費宣伝活動を行っています。

平成22年度京阪神愛知会通常総会が、5月15日(土)にホテルグランヴィア大阪で関西の卸売会社18社と愛知経済連等が出席して開催されましたので、その概要を報告します。

1 平成21年度の販売結果と平成22年度の目標

平成21年における京阪神地域における青果の取扱実績は、金額ベースで対前年比96.6%であり、特に果物で落ち込みが大きかった。愛知県産の実績については更に低調で、対前年比90%であった。

先日大手企業の決算が発表され、景気については底を打った感があるが、なお先行きに不透明感が残っている。また今後は少子高齢化が一層進むことから、少量多品目の消費傾向がより顕著になり、それにあわせて取引の形態は大きく変化していくことが予想される。

昨年は、京阪神愛知会会員における愛知県産取扱いを野菜90億、果実10億、計年間100億円という目標を立てて営業を行ってきたが、達成できなかった。今年こそはこの目標を達成できるよう頑張っていきたい。

京阪神市場における愛知県青果の販売実績

平成21年度 販売実績表

単位:百万円

野菜	経済連全体	前年比	京阪神地域	前年比	シェア
キャベツ	9,682	92	1,936	85	20
おおば	8,020	90	1,885	93	24
はくさい	911	72	416	67	46
トマト	6,642	97	565	98	9
きくはな	1,601	91	517	94	32
上記以外	32,072	94	2,249	94	7
野菜計	58,927	93	7,568	90	13

果実	経済連全体	前年比	京阪神地域	前年比	シェア
すいか	921	88	169	76	18
アールスメロン	789	88	158	88	20
非ネットメロン	422	87	90	99	21
ネットメロン	275	97	69	105	25
次郎柿	541	78	39	68	7
上記以外	10,920	93	109	113	1
果実計	13,868	92	633	89	5

(J A あいち経済連大阪駐在とりまとめ)

2 部会活動方針について

(1) 野菜部会

21年度 一般野菜の取扱実績は、39.8億円という不本意な結果に終わった。

22年度 販売金額目標は45.6億円、前年度比117%を目指して頑張りたい。野菜の中ではキャベツが50%を占めるが、それ以外の品目についても販売量を伸ばしていく必要がある。にんじん、ごぼう等根菜は産地の作付面積が縮小していることから、葉菜類を中心に取扱量を伸ばしていきたい。

(2) 促成部会

21年度実績は前年比93%の36億円と落ち込み、過去最低の販売額であった。

促成ものは業務用の取扱が多い。昨年の新型インフルエンザの流行で消費者が外出を控えたことは非常に影響が大きく、苦しい販売状況となった。

22年度の販売目標を44億円、今年度の120%を目標としているが、ポイントとなるのは「おおば」である。産地でもおおばの消費拡大の取組みに力を入れてほしい。

(3) 果実部会

果実はし好品であるため景気の減退による販売への影響が非常に大きい。

21年度 販売実績は前年比89%の6.3億円にとどまった。

22年度 販売金額は10億（前年比158%）を目標に頑張りたい。京阪市場で取り扱う果実の中心はすいか、メロン類だが、取扱量は横ばいか減少傾向になっている。新しい品目を入れていく必要があることから、いちご、なしを平成21年から積極的に販売している。産地でも、これら品目のPRをしっかりと行ってほしい。

京阪神愛知会 取扱高目標

〔単位：百万円〕

	22年度目標	21実績比	21年度実績	前年比
野菜計	4,567	117	3,895	87
促成計	4,433	121	3,674	93
果実計	1,000	158	633	89
計	10,000	122	8,202	90

(J A あいち経済連大阪駐在とりまとめ)

花を持って歩こう「フラワーウォーク」

「フラワーウォーク」とは、県内花き生産者で組織する愛知県花き温室園芸組合連合会（以下「県花き連」）が、平成20年から始めた花のある暮らしの推進と消費拡大運動です。

花は、見たり、飾ったり、もらったりすることで人々の心に潤いと安らぎを与えてくれる癒しの効果があります。

そんな花をもっと身近に親しんでもらいたいという思いから、生産者自らが街へ出る機会に花を持って歩くとともに、男性でも抵抗なく花を持って街を歩いてもらえるような機運を作っていこうと提唱したものです。



県花き連のフラワーウォーク

愛知県は、昭和37年から現在にいたるまで、連続して全国一の花き産出額を誇っており、花きは本県農業の柱の一つとなっています。

しかし、他の先進国に較べて花を気軽に買って帰る姿は少なく、地産地消の点でも、県産の花の消費をさらにのばす方策が求められています。そこで、愛知県農林水産部では県花き連の活動に賛同し、平成21年4月から月1回、職員の有志が愛知県産の花を購入し帰宅するようになりました。

平成22年からは、全庁をあげた活動となり、毎月19日の「フラワーウォーク」の日には、県庁周辺のあちらこちらで花を手にした姿を見かけます。

また、尾張、海部、西三河及び東三河農林水産事務所も地域特産の花で「フラワーウォーク」活動に取組み、特産の花を紹介する機会にもなっています。



花束を抱えて帰宅する県職員

このような活動を広げていくことは、消費拡大ひいては愛知県の花き生産振興につながると考えています。また、このような活動によって、花が暮らしの中でなくてはならない心の糧となってくれることが、生産者の願いです。

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋市中央卸売市場（品目：おおば）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
21年実績	26	24 (92%)	1,542	1,534	高知 (5%)
22年見通し	25	-	1,500	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>地元愛知からの入荷が大部分を占める。天候による生育の遅れ、病害虫の発生はなく、生育は順調である。斑点病に強く香りのよい「愛経1号」が夏場にかけて出荷される。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>			<p>薬味・ツマとしての用途が主で、回転寿司や鮮魚等、業務需要の割合が高い。おおばジュース等新たなメニューを紹介するなど、健康野菜としてPRできる。出荷の際は、髪の毛などの異物混入に注意するとともに、気温上昇に伴い傷みやすくなるので、病気の無いものを選んでほしい。</p>		

東京都中央卸売市場（品目：ハウスみかん）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
21年実績	589	80 (69%)	999	1,188	佐賀 (65%) 愛知 (14%) 大分 (10%)
22年見通し	650	-	950	-	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>佐賀を中心に愛知、大分、熊本など九州地域から入荷する。昨年よりハウスみかんの加温面積は増加し、入荷量も増加する見込み。佐賀、愛知とも生育順調である。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をやや下回ると見込まれる。</p>			<p>ハウスみかんは5月から7月にかけてのギフト商材としての需要がある。愛知産は、食味も良く品質管理がしっかりなされており、果専門店や量販店などからの信頼が高いだけに評価も厳しい。出荷にあたっては特に浮皮や着色などに注意して選果して欲しい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の6月の見通し

名古屋市中央卸売市場

5月17日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	17年	38,057	176	187	178	164	愛知 26%
	18年	38,439	207	222	204	193	長野 16%
	19年	37,066	183	185	179	187	茨城 8%
	20年	32,995	222	218	228	219	青森 5%
	21年	35,947	205	209	210	194	
	計	5ヵ年平均	36,501	199	-	-	-
22年見通し	34,100	214	-	-	-		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>地元愛知と、葉ものを中心とした長野、茨城から入荷する。春の天候不順から生育は遅れ気味で、産地の切り替わりも遅れ気味だが、各産地とも気温の上昇とともに、入荷も安定する見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							
だいこん	17年	2,240	70	78	61	72	青森 57%
	18年	2,347	86	85	92	83	愛知 21%
	19年	2,208	77	81	79	73	北海道 12%
	20年	2,196	77	70	85	75	岐阜 6%
	21年	1,867	92	86	91	99	
	計	5ヵ年平均	2,172	80	80	81	80
22年見通し	1,800	90	100	90	80		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地は青森を中心に、他に愛知と北海道。愛知は上旬で終了。4月にかけての低温と降雨で生育は遅れていることから小玉傾向で、少なめの入荷が見込まれる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>							
にんじん	17年	1,755	108	117	103	102	岐阜 45%
	18年	1,856	187	179	198	187	愛知 11%
	19年	1,827	116	118	110	121	徳島 11%
	20年	1,543	204	189	210	219	千葉 9%
	21年	1,635	135	115	150	143	
	計	5ヵ年平均	1,723	149	143	153	153
22年見通し	1,500	150	140	150	160		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地は岐阜中心で、他に愛知、徳島、千葉。徳島は上旬で終了。下旬には青森の入荷が始まる。岐阜の作付面積は減少し、低温多雨により生育は遅れ気味。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

5月20日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	17年	140,554	177	178	171	184	千葉 17%
	18年	135,837	223	231	220	218	茨城 16%
	19年	133,725	197	196	196	201	長野 9%
	20年	127,808	238	235	242	238	群馬 8%
	21年	134,861	224	221	229	221	(愛知産比率 2%)
	5カ年平均	134,557	212	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	131,000	230	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>葉菜類の入荷は関東産地と長野、また果菜類、土物類は西南暖地からの入荷が中心となる。4月の低温、日照不足の影響が残っている産地もある。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							
だいこん	17年	8,198	66	67	58	70	青森 56%
	18年	8,552	84	81	89	83	千葉 24%
	19年	8,038	76	76	76	75	北海道 7%
	20年	8,458	72	64	80	74	宮城 3%
	21年	7,737	89	83	89	97	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	8,197	77	74	78	80	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	7,500	91	93	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>青森と千葉からの入荷が中心となる。青森、北海道の生育は天候不順の影響でやや遅れている。千葉の生育は日照不足からやや遅延がある。市場入荷量は上旬は少なめで、中旬以降に増えて来る見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は高かった前年をわずかに上回る見込み。</p>							
にんじん	17年	7,453	94	115	84	83	千葉 74%
	18年	6,762	186	191	190	178	埼玉 10%
	19年	6,914	102	107	94	106	茨城 6%
	20年	6,262	218	236	204	211	青森 4%
	21年	6,396	129	129	132	125	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	6,757	144	154	139	138	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	6,200	140	142	139	139	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>千葉からの入荷が中心となる。千葉、埼玉とも生育は4月の低温、日照不足の影響からやや遅延しているが病気の発生はない。 全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	17年	2,247	65	68	67	61	長野 88%
	18年	2,500	98	109	113	72	茨城 11%
	19年	2,330	76	82	76	72	愛知 1%
	20年	2,042	87	78	83	102	0 0%
	21年	2,142	74	83	71	68	
さい	5ヵ年平均	2,252	80	85	83	74	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
い	22年見通し	2,000	80	90	80	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は前月までの関東中心から長野の高原ものへ移行する。長野の生育は遅れ気味で、天候回復次第で取り戻せる状況。回復すれば、今月に入荷が集中する見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					<p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の推移。数量は7月約2400t、8月約2400t、9月約3000t、10月約3500t、11月約3500t、12月約3500t、1月約3000t、2月約3000t、3月約3500t、4月約4800t、5月約3500t、6月約3000t。単価は7月約75円/kg、8月約75円/kg、9月約75円/kg、10月約75円/kg、11月約75円/kg、12月約75円/kg、1月約75円/kg、2月約75円/kg、3月約75円/kg、4月約100円/kg、5月約75円/kg、6月約75円/kg。</p>
キャベツ	17年	3,345	54	58	46	58	茨城 44%
	18年	3,980	94	128	81	73	愛知 39%
	19年	3,779	78	69	73	94	長野 10%
	20年	3,518	81	62	81	107	
	21年	4,458	72	81	65	71	
さい	5ヵ年平均	3,816	76	81	70	80	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
い	22年見通し	4,100	75	80	75	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は茨城、愛知中心で長野、群馬の高原ものが出てくる。愛知の作付面積はやや増加、茨城は前年並み。天候が安定すれば生育も回復するため、入荷量は集中し、前年ほどではないが平年を上回る。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					<p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の推移。数量は7月約3800t、8月約4000t、9月約4200t、10月約4500t、11月約3500t、12月約3500t、1月約3500t、2月約3500t、3月約4000t、4月約4000t、5月約3500t、6月約4200t。単価は7月約75円/kg、8月約75円/kg、9月約75円/kg、10月約75円/kg、11月約75円/kg、12月約75円/kg、1月約75円/kg、2月約75円/kg、3月約75円/kg、4月約100円/kg、5月約75円/kg、6月約75円/kg。</p>
ほうれんそう	17年	347	459	406	450	542	岐阜 78%
	18年	351	526	483	515	591	長野 7%
	19年	344	489	446	471	563	茨城 5%
	20年	294	540	477	632	520	愛知 3%
	21年	310	508	522	510	491	
さい	5ヵ年平均	329	503	465	512	543	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
い	22年見通し	310	510	500	510	520	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は岐阜中心で他に長野、北海道。各産地とも作付面積は前年並みで、岐阜の入荷はやや増、生育は遅れ気味で出荷のピークは6月上旬。その後は安定した入荷が見込まれる。 入荷量、価格とも前年並みとなる見込み。</p>					<p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の推移。数量は7月約250t、8月約200t、9月約250t、10月約350t、11月約350t、12月約350t、1月約350t、2月約450t、3月約350t、4月約350t、5月約350t、6月約350t。単価は7月約500円/kg、8月約600円/kg、9月約600円/kg、10月約500円/kg、11月約500円/kg、12月約500円/kg、1月約500円/kg、2月約500円/kg、3月約500円/kg、4月約500円/kg、5月約500円/kg、6月約500円/kg。</p>

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうろくさい	17年	5,989	40	37	40	44	長野 53%
	18年	5,877	84	95	98	61	茨城 29%
	19年	5,263	54	56	51	54	群馬 17%
	20年	5,280	66	52	59	87	秋田 0%
	21年	6,378	58	62	57	55	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	5,757	60	61	61	60	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
22年見通し		6,250	60	61	60	59	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>茨城が終盤を迎え、長野、群馬の高冷地もの入荷が増加する。長野、群馬の生育は小玉傾向で7日～10日の遅れがある。茨城は日照不足で生育にやや遅れが見られたが、回復傾向にある。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込みである。</p>							
キャベツ	17年	15,744	47	53	34	53	千葉 43%
	18年	15,956	82	96	73	74	茨城 26%
	19年	13,972	68	63	64	78	群馬 11%
	20年	14,767	67	60	63	80	神奈川 7%
	21年	17,218	63	63	60	65	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	15,531	65	67	59	70	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
22年見通し		17,200	65	66	64	65	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東産地からの入荷が中心。生育は、千葉で日照不足の影響からやや遅れが見られ、群馬、茨城は遅れが回復傾向。 入荷量は多かった前年並みで、価格は安かった前年をやや上回り平年並みの見込み。</p>							
ほうろくそ	17年	1,575	365	319	322	480	群馬 27%
	18年	1,545	453	411	417	558	茨城 23%
	19年	1,626	352	323	320	423	岩手 18%
	20年	1,616	405	393	419	403	栃木 16%
	21年	1,680	403	394	401	416	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	1,608	395	368	376	455	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
22年見通し		1,570	410	409	410	411	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東産地に加え岩手からの入荷が本格化してくる。群馬は中山間地もの中心となるが低温の影響から生育が遅れる傾向。茨城、栃木、岩手は低温の影響も回復傾向で平年並みの生育。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	17年	821	314	317	299	324	愛知 35%
	18年	795	381	390	406	349	茨城 14%
	19年	839	366	375	396	329	大分 14%
	20年	768	443	494	434	401	鳥取 7%
	21年	901	403	450	389	373	
	5カ年平均	825	381	405	384	355	
22年見通し	850	400	420	400	380	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は、愛知の長ねぎと、茨城、大分、鳥取の白ねぎ。春ねぎは終盤、低温から販売好調で残量少ない。夏秋ものへの移行期だが生育遅れており、入荷量は少なめ。業務用の中国産輸入量が増加している。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>					
レタ	17年	1,846	95	112	80	94	長野 99%
	18年	2,186	127	196	104	91	愛知 1%
	19年	2,064	144	180	141	118	群馬 0%
	20年	1,580	171	201	184	139	兵庫 0%
	21年	1,824	126	145	131	106	
	5カ年平均	1,900	132	167	126	108	
22年見通し	1,800	140	160	140	120	に、 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は長野中心で、上旬は松本、塩尻から小諸、浅間産、下旬に高地のものが出てくる。長野は春の天候不順から生育が遅れていたが、天候が回復すれば、入荷量も順調に回復する。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
きゅう	17年	2,103	149	122	156	175	埼玉 28%
	18年	2,276	196	215	190	180	愛知 19%
	19年	2,316	221	166	233	276	群馬 17%
	20年	1,780	233	254	222	223	長野 15%
	21年	1,876	202	211	212	175	
	5カ年平均	2,070	199	191	202	207	
22年見通し	2,000	200	220	200	180	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北関東と、愛知、高知の残量。生育の遅れが回復する見込みであることから、潤沢な入荷がみこまれる。需要は梅、らっきょうの消費に影響されるが、今年は梅が不作で引きは平年並み。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
ねぎ	17年	4,335	249	245	229	273	茨城 63%	
	18年	4,523	277	264	314	257	千葉 22%	
	19年	4,367	256	249	262	258	中国 5%	
	20年	4,353	367	437	339	320	埼玉 4%	
	21年	4,270	359	383	327	370	(愛知産比率 -%)	
	5ヵ年平均	4,370	301	315	294	295	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	22年見通し	4,250	350	354	347	350		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
		茨城、千葉からの入荷が中心となる。茨城の生育は低温の影響からやや遅れが見られる。千葉の生育は順調、病気の発生は少ない。埼玉の生育はやや遅れ気味で病気も若干見られる。 入荷量は前年並み、価格は前年をやや下回る見込み。						
しそ	17年	7,963	76	95	57	79	長野 69%	
	18年	8,085	119	170	104	89	群馬 21%	
	19年	7,480	132	161	127	114	岩手 6%	
	20年	7,147	158	183	166	130	茨城 3%	
	21年	8,159	118	130	120	104	(愛知産比率 0%)	
	5ヵ年平均	7,767	120	147	114	102	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	22年見通し	8,100	120	130	120	110		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
		長野からの入荷が本格化する。長野の生育は低温の影響から停滞ぎみであったが平年並みに戻りつつある。群馬は低温の影響から7日間程度の遅れがある。 入荷量は前年並み、価格は、前年並みの見込み。						
きゅうり	17年	7,672	158	132	158	182	埼玉 27%	
	18年	7,781	210	237	204	189	福島 16%	
	19年	7,518	196	195	170	226	群馬 14%	
	20年	6,901	229	248	223	218	茨城 11%	
	21年	7,485	210	222	224	182	(愛知産比率 0%)	
	5ヵ年平均	7,471	200	206	195	199	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	22年見通し	7,300	213	215	211	213		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
		埼玉は4月の低温で生育が遅れていたが回復し平年並み作柄となる見込み。群馬、福島の生育は低温の影響や病気が散見されることからやや不良となる。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。						

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	17年	1,775	176	201	167	161	愛知 48%
	18年	1,351	291	304	284	284	熊本 30%
	19年	1,415	237	236	245	228	宮崎 10%
	20年	1,184	293	278	293	311	高知 5%
	21年	1,358	269	280	298	224	
	5ヵ年平均	1,416	248	255	251	235	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	1,300	270	270	270		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、熊本中心。愛知の干雨は着果もよく、気温の上昇に伴い入荷量増すが、作付面積が減少しているため減少の見込み。熊本の長なすは作付面積が増え、生育も順調。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>					
ト マ ト	17年	2,002	172	186	156	174	愛知 37%
	18年	1,734	256	237	233	301	熊本 26%
	19年	1,879	214	205	212	223	三重 15%
	20年	1,814	218	211	216	226	岐阜 10%
	21年	1,857	232	245	227	225	
	5ヵ年平均	1,857	217	216	208	228	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	1,750	220	210	220	230	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、熊本中心で、他に三重、岐阜。出荷のピークを迎え、安定的な出荷が見込まれるが、春先の天候不順から小玉傾向で、量は平年より少なくなる見込み。 入荷量、価格ともに前年をやや下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	17年	387	408	428	388	404	愛知 42%
	18年	294	544	474	519	672	熊本 35%
	19年	376	462	426	450	511	北海道 11%
	20年	319	524	515	519	538	
	21年	423	477	503	475	451	
	5ヵ年平均	360	478	468	466	505	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	380	480	480	480	480	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、熊本中心で、他に和歌山、北海道が出てくる。各地とも、低温と日照不足で生育が遅れ気味。和歌山は若干少なめ。天候回復による、月後半の入荷量回復が見込まれる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>					

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	17年	6,125	214	222	213	206	高知 28%
	18年	4,973	342	349	338	338	福岡 19%
	19年	5,261	258	258	269	246	群馬 15%
	20年	4,661	346	343	335	362	茨城 12%
	21年	4,875	305	348	326	251	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	5,179	288	299	292	276	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	4,800	310	315	310	305	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知、福岡に関東産地が加わる。高知は生育終盤で前年並の生育となる。福岡は生産者により着花にばらつきがあり、6月上旬は不安定な出荷となる見込み。群馬は低温の影響が回復傾向にある。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					
ト マ ト	17年	10,138	175	184	152	190	栃木 19%
	18年	9,161	252	252	230	272	茨城 17%
	19年	9,280	226	223	224	232	千葉 15%
	20年	8,249	248	238	254	249	愛知 10%
	21年	8,688	262	282	255	251	(愛知産比率 10%)
	5ヵ年平均	9,103	231	234	221	237	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	8,500	265	268	260	267	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心。栃木は草勢回復が遅れ小玉傾向、病気も散見される。茨城は低温の影響から作柄がやや不良傾向。千葉は生育遅れが回復しているが小玉傾向、病気も散見される。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	17年	1,223	356	399	317	349	愛知 26%
	18年	1,079	519	461	478	630	熊本 21%
	19年	1,225	441	427	433	463	千葉 15%
	20年	1,135	502	492	317	515	宮崎 8%
	21年	1,321	450	452	449	449	(愛知産比率 26%)
	5ヵ年平均	1,197	451	445	399	477	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	1,250	460	465	455	460	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、熊本が終盤を迎え、東北及び関東産地からの入荷が増加してくる。各産地とも急増はなく。安定した出荷となる。気温が上昇すれば引き合いが強くなると見込まれる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量		卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)		
				上旬	中旬	下旬			
ピーマン	17年	790	230	233	215	246	茨城	50%	
	18年	718	330	436	288	268	宮崎	28%	
	19年	681	265	249	266	283	高知	21%	
	20年	612	341	298	367	364			
	21年	630	298	263	344	292	(愛知産比率 0%)		
マン	5カ年平均	686	290	296	291	287	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	22年見通し	640	310	270	320	320			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		産地は茨城に切り替わり、あと西南暖地の残量。茨城は前年並み。西南暖地は終了近づき、品質、価格ともに下がってくる。天候回復し、生育の遅れが取り戻せれば、月後半に北海道も出てくる。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回る見込み。							
ばいしょ	17年	3,517	127	133	140	110	長崎	61%	
	18年	3,669	118	125	114	113	静岡	27%	
	19年	3,219	80	81	77	85	北海道	4%	
	20年	2,519	147	143	150	149			
	21年	2,702	160	153	167	163	(愛知産比率 0%)		
いしょ	5カ年平均	3,125	124	125	127	121	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	22年見通し	2,700	160	160	160	160			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		産地は長崎中心で、他に静岡。長崎は低温、降雨の影響で生育は遅れている。静岡の生育も遅れているが、天候の回復次第で月後半に取り戻す。 入荷量は前年並みで、価格も高かった前年並みとなる見込み。							
たまねぎ	17年	4,611	63	62	65	64	愛知	67%	
	18年	4,936	62	61	61	65	兵庫	19%	
	19年	4,300	53	47	52	63	北海道	13%	
	20年	4,064	63	66	65	59	佐賀	1%	
	21年	4,821	75	78	77	67			
ねぎ	5カ年平均	4,546	63	63	64	64	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	22年見通し	4,300	90	90	90	90			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		産地は愛知と兵庫の淡路中心。愛知は中生種から晩生種に移行し、小玉傾向からL、M中心へ。淡路はほ場ごとのばらつき大きい、L玉主体で、量は少なめ。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は高かった前年を大幅に上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	17年	2,703	175	191	173	161	茨城 87%
	18年	2,752	332	447	310	236	岩手 5%
	19年	2,828	246	273	246	220	高知 3%
	20年	2,288	366	357	409	335	宮崎 3%
	21年	2,366	307	331	330	253	(愛知産比率 -%)
マ	5カ年平均	2,587	282	318	289	237	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	2,290	310	330	310	290	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		西南暖地が終了し、茨城からの入荷が大 半となる。茨城の生育は低温や日照不足の 影響が依然残っておりやや生育遅れ気味で ある。岩手はゴールデンウィーク以降、気 温が低めで生育も遅れている。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年 をやや上回る見込み。					
ばいしょ	17年	8,165	127	130	129	119	長崎 41%
	18年	8,756	123	128	121	117	静岡 21%
	19年	8,969	78	80	78	76	茨城 14%
	20年	7,374	147	148	145	147	千葉 12%
	21年	7,877	160	161	161	158	(愛知産比率 0%)
い	5カ年平均	8,228	125	128	125	122	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	7,900	140	145	140	135	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		長崎や静岡からの入荷が中心。長崎の生 育は遅れが回復傾向、当初の小玉傾向も 徐々に回復してくる。静岡は黒マルチ、露 地ものに切り替わり、順調な生育となる見 込み。茨城、千葉の生育は遅れ気味。 入荷量はやや前年を上回り、価格は高 かった前年をかなり下回る見込み。					
たまねぎ	17年	11,811	74	71	73	79	佐賀 54%
	18年	12,419	72	74	66	78	香川 11%
	19年	10,662	66	55	69	76	兵庫 10%
	20年	11,235	84	86	83	81	愛知 4%
	21年	10,942	95	92	92	103	(愛知産比率 4%)
ね	5カ年平均	11,414	78	76	76	83	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	10,980	92	92	90	94	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		佐賀からの入荷が中心となる。佐賀は中 生種の出荷が5月末から始まり、6月上 旬にはピークとなる。玉伸びが悪く、2Lの 比率が低い小玉傾向で出荷量も少ない。兵 庫も生育は順調で平年並み。 入荷量は前年並み、価格は前年をやや下 回る見込み。					

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	17年	16,228	286	280	278	301	熊本 29%
	18年	11,892	342	331	348	346	フィリピン 23%
	19年	11,642	347	343	343	353	青森 11%
	20年	10,549	342	332	338	356	アメリカ(合) 9%
	21年	11,280	316	306	308	335	
	5カ年平均	12,318	323	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	9,800	330	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>春の天候不順の影響で生育は遅れ気味。すいか、メロンは作付面積が減少しており、入荷は減少傾向。全体として入荷は少なめだが、消費者の低価格志向は変わらず、厳しい販売状況が続く。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
その他メロン	17年	2,086	241	282	260	232	熊本 32%
	18年	1,489	301	349	336	284	愛知 29%
	19年	1,386	296	350	312	281	茨城 23%
	20年	1,340	267	312	285	278	メキシコ 8%
	21年	1,558	237	253	255	266	
	5カ年平均	1,572	266	306	287	265	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	1,350	250	250	250	250	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は熊本と愛知中心。各産地とも作付面積は前年に比べて減少している。日照不足による生育遅れで前月出荷予定分が今月入荷され、量が増える。それでも平年より少なめとなる見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
すいか	17年	3,003	139	149	133	134	愛知 72%
	18年	2,212	183	198	188	167	熊本 13%
	19年	2,383	154	179	155	140	鳥取 11%
	20年	2,024	164	176	167	150	石川 2%
	21年	2,370	156	180	156	136	
	5カ年平均	2,398	158	175	158	144	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	2,000	165	180	165	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知中心で、他に熊本、鳥取。各産地とも、作付面積は減少している。春の天候不順により着果不良がみられ、生育遅れることから入荷は遅れ気味で入荷量も少なめ。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	17年	39,275	328	327	334	326	茨城 19%
	18年	34,080	375	348	390	387	千葉 16%
	19年	34,498	376	382	380	368	フィリピン 10%
	20年	32,636	382	371	392	381	青森 10%
	21年	37,774	341	318	346	357	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	35,653	359	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	35,000	350	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>すいか類、メロン類中心に「おうとう」や「ぶどう」が入荷する。「おうとう」は主力の山形が5月の日照不足で生育遅れ。「ぶどう」も4～5月の低温・日照不足で各産地とも生育遅れの状況にある。入荷量は前年をかなり下回り、価格はわずかに前年を上回る見込みである。</p>					
その他 メロン	17年	7,236	295	338	301	252	茨城 78%
	18年	5,789	354	385	374	304	千葉 12%
	19年	5,545	355	408	360	307	熊本 6%
	20年	4,973	342	382	340	308	山形
	21年	6,804	274	281	274	265	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	6,069	320	354	326	284	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	6,400	305	350	300	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城中心に入荷する。茨城は4～5月の低温・日照不足の影響で生育が遅れ小玉傾向。茨城のアンデスはL中心。クインシーは2L中心で中旬がピークの見込み。千葉も天候不順でやや小玉傾向。入荷量は前年をやや下回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込みである。</p>					
すいか	17年	11,530	156	165	150	153	千葉 49%
	18年	8,787	195	216	196	177	茨城 18%
	19年	11,642	170	195	172	155	熊本 14%
	20年	9,591	181	204	186	159	鳥取 10%
	21年	10,217	162	147	166	178	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	10,353	172	184	173	164	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	7,700	190	210	190	170	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本から千葉に切り替わる。千葉、茨城は低温・日照不足により着果不足と小玉傾向にある。特に千葉のトンネル二重被覆栽培の作付減少で中旬は入荷が減少見込み。群馬の小玉スイカは着果不良であるが玉肥大は良好。入荷量は前年を大幅に下回り価格は前年を大幅に上回ると見込まれる。</p>					

切花・鉢花の5月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 4月23日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	18年	2,599	53	
		19年	2,850	35	
		20年	2,772	24	
		21年	2,416	43	
		4ヶ年平均	2,659	38	
	22年見通し	2,500	40		
概要	<p>愛知を中心に、長野からも入荷。6月上旬から夏菊「岩の白扇」の入荷が始まる。渥美は順調に移行している。三重は夏菊「優香」の単価が平年より低かったが、黄大をはじめ順調に品種は移行している。長野は低温の影響で1週間程度の生育が遅れているが、全体としては安定した入荷が見込まれる。</p>				
小 ぎ	実績	18年	1,198	34	
		19年	1,568	19	
		20年	1,577	18	
		21年	1,353	32	
		4ヶ年平均	1,424	25	
	22年見通し	1,300	25		
概要	<p>沖縄産は終了し、愛知を中心に、奈良、長野から入荷。気温が低いことから、1週間から10日の生育遅れが見られる。生育遅れから入荷は不安定になることが予想され、単価は高めの展開となろう。</p>				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	18年	1,271	44	
		19年	1,198	36	
		20年	1,099	37	
		21年	1,070	41	
		4ヶ年平均	1,160	40	
	22年見通し	1,100	40		
概要	<p>長野を中心に愛知、北海道から入荷。母の日商戦終盤から価格低迷が続き、苦しい販売状況となっている。高冷地産の出荷も始まり、価格安だが堅調な動き。プライダル需要の低迷により高単価は望めないが、一般需要は底堅いので、入荷の波がなければ安定した価格となろう。</p>				
か す み	実績	18年	178	71	
		19年	147	72	
		20年	161	71	
		21年	139	78	
		4ヶ年平均	156	73	
	22年見通し	140	75		
概要	<p>北海道、福島、長野等の高冷地産が入荷。和歌山、高知、熊本等の暖地産は中旬まで続く。業務需要中心の荷動きとなるため、品質のよい高冷地物は価格安定するが、暖地物は品質低下が顕著となり、価格は不安定になることが予想される。</p>				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	18年	485	127	
		19年	452	125	
		20年	457	128	
		21年	427	139	
		4ヶ年平均	455	129	
	22年見通し	430	130		
	概要	新潟、高知、愛知、静岡、埼玉から入荷。オリエンタル系は入荷量はあまり多くなないと予想されるが、業務需要中心の販売で荷動きは悪そう。LA系、てっぽうゆりも荷動きはあまり良くない。6月中旬からLA系の量は増加すると思われ、価格の低下が予想される。			
洋 ら ん	実績	18年	342	90	
		19年	326	86	
		20年	347	78	
		21年	287	92	
		4ヶ年平均	325	86	
	22年見通し	300	90		
	概要	愛知、岐阜、宮崎、徳島、静岡と輸入ものが入荷。国内産のカトレアは前月に続き入荷量が少ない時期で、堅調に推移する見込み。コショウランは徐々に端境期にはいり、入荷量の減少から同様の傾向に。品質によって価格差が広がる見込み。			
ば ら	実績	18年	1,231	47	
		19年	1,137	45	
		20年	1,115	46	
		21年	1,107	50	
		4ヶ年平均	1,148	47	
	22年見通し	1,100	50		
	概要	愛知、三重、岐阜、和歌山と輸入ものが入荷。今年は一部で夜冷を行っている産地もあり、品質の向上が期待できる。6月下旬から7月にかけて株休めを行う産地もあるため、徐々に入荷量は落ち着く見込み。			
枝 も の	実績	18年	1,412	40	
		19年	1,357	41	
		20年	1,220	43	
		21年	1,242	43	
		4ヶ年平均	1,308	42	
	22年見通し	1,200	40		
	概要	静岡、愛知、岐阜、長野から入荷。山取りものは順調に入荷。数量少なかったシキミも6月は出回るが、新芽は固まっていない。2年物のソケイも1年物となり、一時的には枝ものの荷動きは活発になるが、稽古需要は少なく、苦しい販売環境が予想される。			

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ア ン ス リ ウ ム	実 績	17年	22,793	805	
		18年	29,956	979	
		19年	23,238	1,058	
		20年	23,173	1,088	
		21年	25,243	997	
	5ヶ年平均		24,881	986	
	22年見通し		25,000	990	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。メインである4号～6号鉢の単価面は厳しそう。7号～10号鉢は昨年並みに売れそう。下旬から始まる中元商戦に期待したい。 昨年6月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(95%)、2位三重(4%)、3位愛媛(0.2%)となっている。</p>				
フ ア レ ノ プ シ ス	実 績	17年	35,124	2,664	
		18年	27,041	3,229	
		19年	24,316	3,241	
		20年	25,642	3,106	
		21年	28,794	2,706	
	5ヶ年平均		28,183	2,961	
	22年見通し		25,000	2,500	
概要	<p>入荷量は昨年よりやや減少か。下旬より中元商戦が始まり、大輪系の花数の多い白に人気集中か。ただし、単価は厳しそう。 昨年6月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(65%)、2位静岡(8%)、3位宮崎(7%)となっている。</p>				
ミ ニ バ ラ	実 績	17年	27,143	167	
		18年	25,619	161	
		19年	17,066	147	
		20年	30,567	165	
		21年	38,145	202	
	5ヶ年平均		27,708	173	
	22年見通し		38,000	190	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。単価面は品質による価格差が大きく出るであろうが、安値安定で推移しそう。 昨年6月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位岐阜(69%)、2位愛知(15%)、3位三重(6%)となっている。</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
八咫鏡	実績	17年	26,718	393	
		18年	22,884	389	
		19年	20,351	474	
		20年	23,263	424	
		21年	38,313	456	
	5ヶ年平均		26,306	429	
	22年見通し		39,000	400	
概要	<p>入荷量は5月入荷ものが遅れていたこともあり、やや多めか。各地でアジサイ祭り等のイベントがあり、イベント会場では盛り上がると思われるが、通常の店売りでは、単価が厳しそう。</p> <p>昨年6月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(70%)、2位栃木(7%)、3位群馬(5%)となっている。</p>				
スパティフィラム	実績	17年	30,538	238	
		18年	35,302	266	
		19年	22,945	333	
		20年	20,913	250	
		21年	23,194	266	
	5ヶ年平均		26,578	269	
	22年見通し		20,000	250	
概要	<p>入荷量はサイズを問わず減少か。需要に大きな変化はなく、概ね堅調に推移しそう。</p> <p>昨年6月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位三重(55%)、2位愛知(35%)、3位岐阜(8%)となっている。</p>				
ドラセナ	実績	17年	80,192	642	
		18年	64,422	745	
		19年	54,090	675	
		20年	54,542	686	
		21年	58,131	562	
	5ヶ年平均		62,275	662	
	22年見通し		58,000	560	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。マッサンを始めユッカ、コンシンネ等が主力となる。7~8号鉢の中鉢に人気集中か。10号鉢以上の大鉢は、入荷減少か。</p> <p>昨年6月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(55%)、2位三重(20%)、3位沖縄(14%)となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2010年)

1 輸入実績

品名	3月						3月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	79,619	133.4	7,251,353	131.8	91	98.8	195,055	129	18,937,021	133	97	93.2
トマト	582	401.9	271,077	643.4	466	160.1	1,252	361	509,235	520	407	149.5
たまねぎ	32,704	242.0	1,688,123	295.2	52	122.0	84,504	210	4,107,248	259	49	128.1
にんにく	1,369	89.4	199,756	170.0	146	190.2	4,438	94	656,144	182	148	141.6
ねぎ	4,182	202.9	348,958	201.7	83	99.4	10,651	161	923,133	173	87	86.1
ブロッコリー	1,574	90.0	280,728	103.1	178	114.5	5,892	119	968,306	119	164	101.0
結球キャベツ	2,929	229.6	101,355	226.3	35	98.6	4,749	80	166,280	88	35	97.3
にんじん・かぶ	3,704	67.2	195,170	64.6	53	96.2	5,774	62	284,649	61	49	97.4
ごぼう	3,109	115.7	172,064	175.8	55	151.9	8,278	101	437,745	157	53	121.1
えんどう	111	84.4	29,249	132.0	263	156.4	696	210	174,256	284	250	112.3
アスパラガス	2,274	114.2	901,316	100.7	396	88.2	5,310	116	2,412,640	109	454	81.8
まつたけ	-	-	-	-	-	-	-	0	-	0	-	-
しいたけ	638	168.0	157,165	190.4	246	113.3	2,253	133	556,203	152	247	105.3
かぼちゃ	21,071	87.9	1,242,025	99.8	59	113.6	47,015	91	2,910,597	92	62	102.0
果実(生鮮・乾燥)	176,867	101.3	18,396,882	105.5	104	104.1	430,194	92	43,604,377	96	101	90.8
バナナ	97,654	93.7	6,700,984	89.6	69	95.6	251,217	83	15,809,370	77	63	85.4
パイナップル	11,708	98.3	723,635	96.1	62	97.8	27,539	95	1,641,433	79	60	95.0
レモン	3,220	108.0	448,538	133.0	139	123.1	11,106	97	1,472,356	112	133	114.6
オレンジ	10,178	119.2	939,872	107.8	92	90.5	23,460	103	2,192,232	95	93	96.0
グレープフルーツ	31,791	116.6	3,297,977	117.0	104	100.4	62,807	107	6,628,562	113	106	119.4
メロン	2,215	62.2	252,963	59.9	114	96.2	7,464	105	801,780	91	107	102.0
ぶどう	1,928	119.2	291,765	130.1	151	109.1	3,380	114	571,790	96	169	91.4
キウイ	8	34.0	3,434	55.5	446	-	8	14	3,709	25	461	137.3
いちご	7	43.2	3,957	51.1	583	118.4	21	60	13,615	70	637	71.7
切花(生鮮・乾燥)	5,302	117.9	3,752,268	121.8	708	103.3	10,822	115	7,610,040	111	703	95.7
鳥獣肉類	143,564	110.9	61,207,067	105.6	426	95.3	385,450	98	160,880,182	93	417	98.0
牛肉(くず肉含む)	42,841	121.6	17,400,001	127.2	406	104.7	104,642	94	41,861,968	102	400	103.4
豚肉(くず肉含む)	63,561	98.6	33,321,664	98.8	524	100.2	172,156	94	90,171,146	94	524	99.9
鶏肉	30,733	134.4	6,539,509	95.2	213	70.8	91,962	115	18,884,927	74	205	88.2
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	134,645	99.9	64,362,388	92.9	478	93.0	400,651	99	189,525,306	90	473	90.7
まぐろ類	22,714	109.0	16,038,423	80.7	706	74.1	52,126	96	36,344,994	68	697	80.6
さば・さんま・あじ・いわし	6,273	62.7	949,215	60.3	151	96.2	28,511	64	4,495,802	56	158	91.4

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	863	38.6	280,837	48.2	325	124.8	12,644	162	3,657,353	184	289	98.1
うんしゅうみかん	19	243.9	7,650	171.1	403	70.2	216	225	81,911	147	379	282.0
りんご	819	37.1	218,204	40.0	266	107.7	12,191	162	3,323,945	190	273	105.4
なし	1	-	736	-	526	-	43	363	18,314	294	424	105.3
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	240,641	89.2	-	-	-	-	605,618	92	-	-
緑茶	191	120.7	364,891	136.3	1,914	112.9	514	121	958,551	132	1,866	106.8

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成17年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	20年平均	101.7	104.7	102.4	106.9	105.5
	21年11月	99.8	94.5	91.9	104.7	102.1
	12月	99.6	95.7	90.6	104.3	102.6
	22年 1月	99.4	107.8	95.0	104.4	103.1
	2月	99.3	107.1	91.8	104.1	101.6
	3月	99.6	107.6	92.2	104.0	102.2
愛 知 県	20年平均	101.7	100.9	101.6	104.8	104.0
	21年11月	100.2	95.9	93.2	103.7	101.3
	12月	100.0	95.0	96.0	102.6	102.0
	22年 1月	99.3	96.8	94.7	102.4	99.4
	2月	99.2	97.4	90.1	104.7	97.5
	3月	99.5	96.1	90.5	104.0	100.7

項目 年月		農業物価指数 (平成17年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	20年平均	97.7	94.7	104.8	100.8	101.6
	21年11月	90.6	97.1	82.3	91.1	97.2
	12月	92.9	97.5	93.5	83.8	98.9
	22年 1月	96.7	97.0	110.5	76.2	96.4
	2月	98.3	97.0	113.6	85.4	97.9
	3月	102.2	97.0	118.3	80.4	97.1

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、「コシカ り」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
20年平均	2,212	150	170	637	420	272	143	331	191	558	605	208	494
21年11月	2,232	111	125	660	331	294	109	316	202	531	570	209	459
12月	2,240	102	106	563	434	305	109	268	217	608	606	209	425
22年 1月	1,995	131	121	641	501	286	130	249	232	579	561	208	367
2月	1,995	173	124	567	483	315	148	273	254	562	600	187	369
3月	1,987	150	157	565	460	317	152	255	246	559	607	163	376
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg			100g	1 kg		100g	1 本			100g		
20年平均	553	346	408	150	261	669	614	163	172	328	230	824	492
21年11月	457	310	398	-	247	738	588	159	166	329	232	752	487
12月	453	303	405	173	246	676	609	162	171	349	221	754	479
22年 1月	491	304	393	145	232	695	565	148	168	299	236	788	472
2月	484	291	373	137	245	636	546	149	156	301	216	815	444
3月	527	277	366	138	237	670	560	149	168	304	233	812	454

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



あいち農産物生産流通レポート 444
平成22年6月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6417